

2021年度第2四半期決算 説明資料



このまち **思い** エネルギー。

広島ガス

1. 2021年度第2四半期 決算実績
2. 広島ガスグループ中期経営計画
3. 2050年カーボンニュートラルへの取り組み
4. トピックス

1. 2021年度第2四半期 決算実績



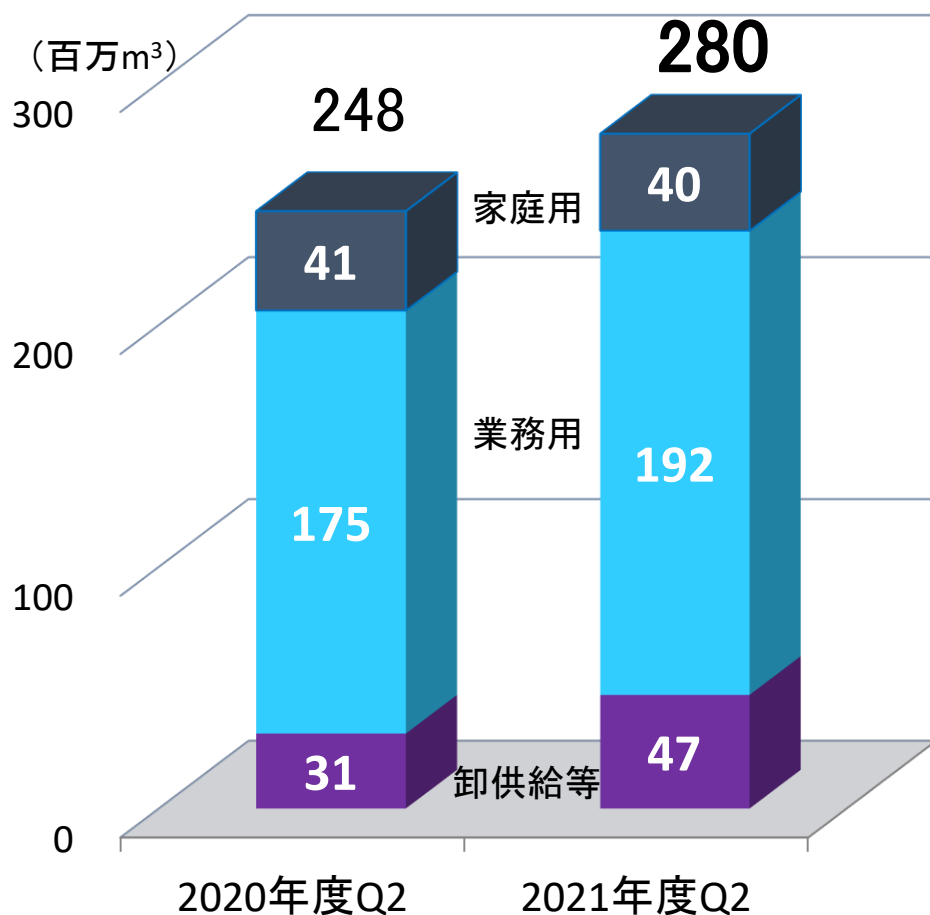
- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 経営成績
- (3) セグメント情報
- (4) 財政状態
- (5) 2021年度 業績予想
- (6) 株主還元方針

(1) 都市ガス販売量実績



■ 都市ガス販売量 280百万m³(+32百万m³、+12.9%)

業務用および卸供給等の販売量の増加



■ 家庭用 ▲0百万m³(▲1.8%)

- ・巣ごもり需要の減少
- ・春先の高水温の影響

■ 業務用 +16百万m³(+9.4%)

- ・飲食店等の営業再開
- ・工場等の操業停止等の反動

■ 卸供給等 +16百万m³(+52.6%)

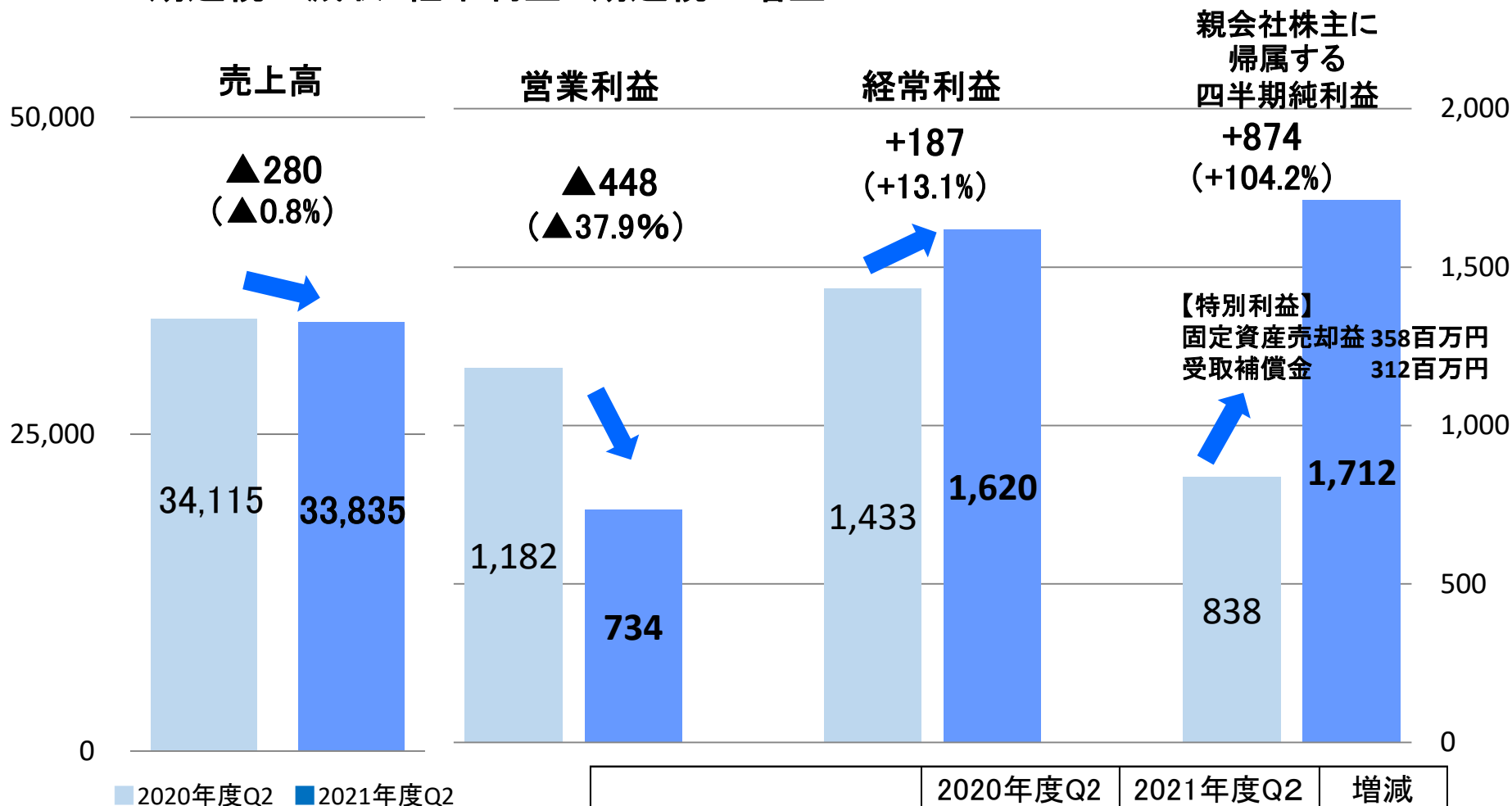
- ・既存卸需要家への販売量の増加

(2) 経営成績



(単位: 百万円)

■ 2期連続の減収・経常利益3期連続の増益



	2020年度Q2	2021年度Q2	増減
原油価格 JCC (\$/bbl)	49	61	12
為替レート(円/\$)	107	110	3

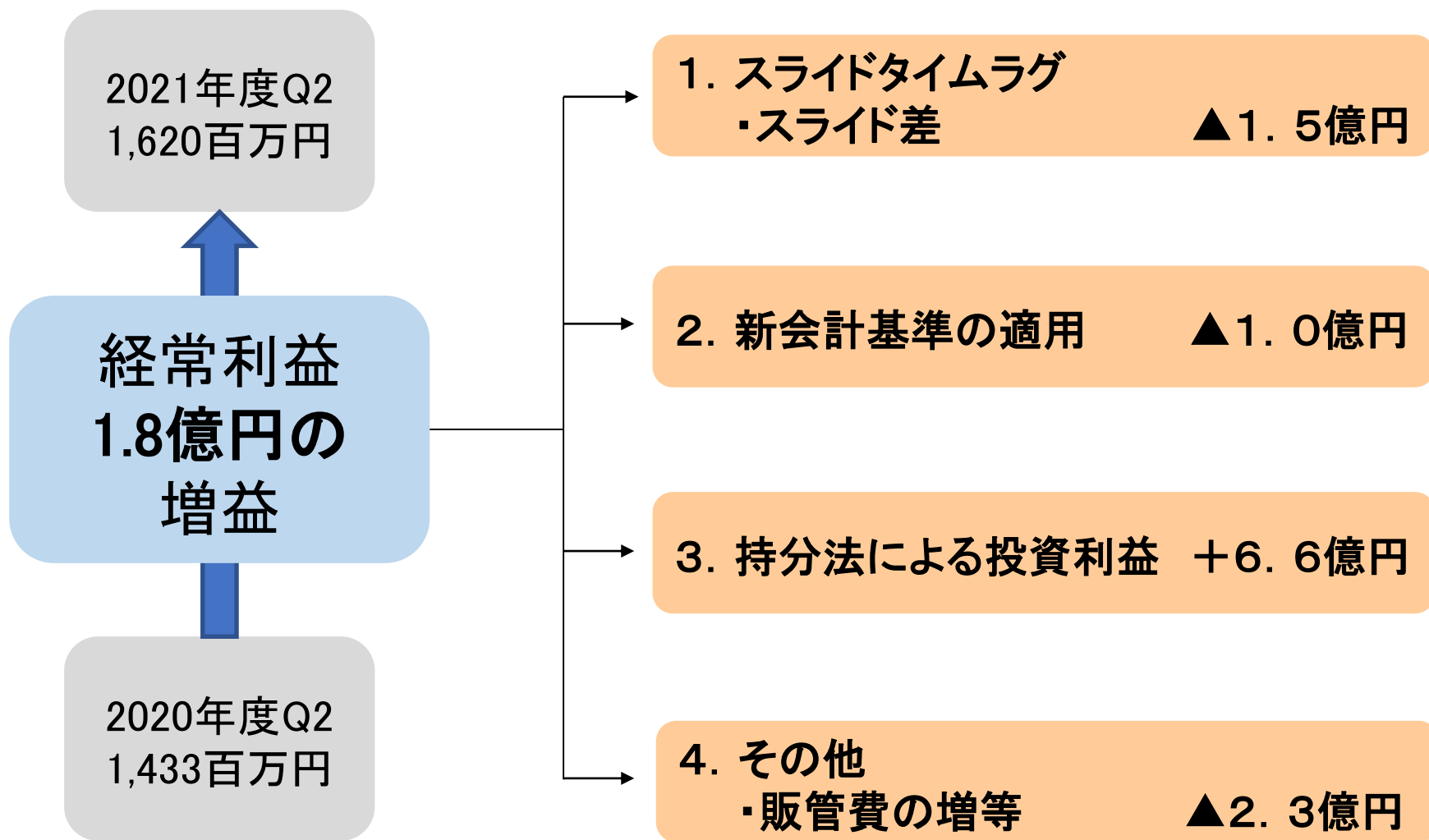
(注) JCC(=Japan Crude Cocktail): 全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格。1月~6月の平均値。

(2) 経営成績



【参考】経常利益分析

(「+」「▲」は利益に対する影響額を示す)

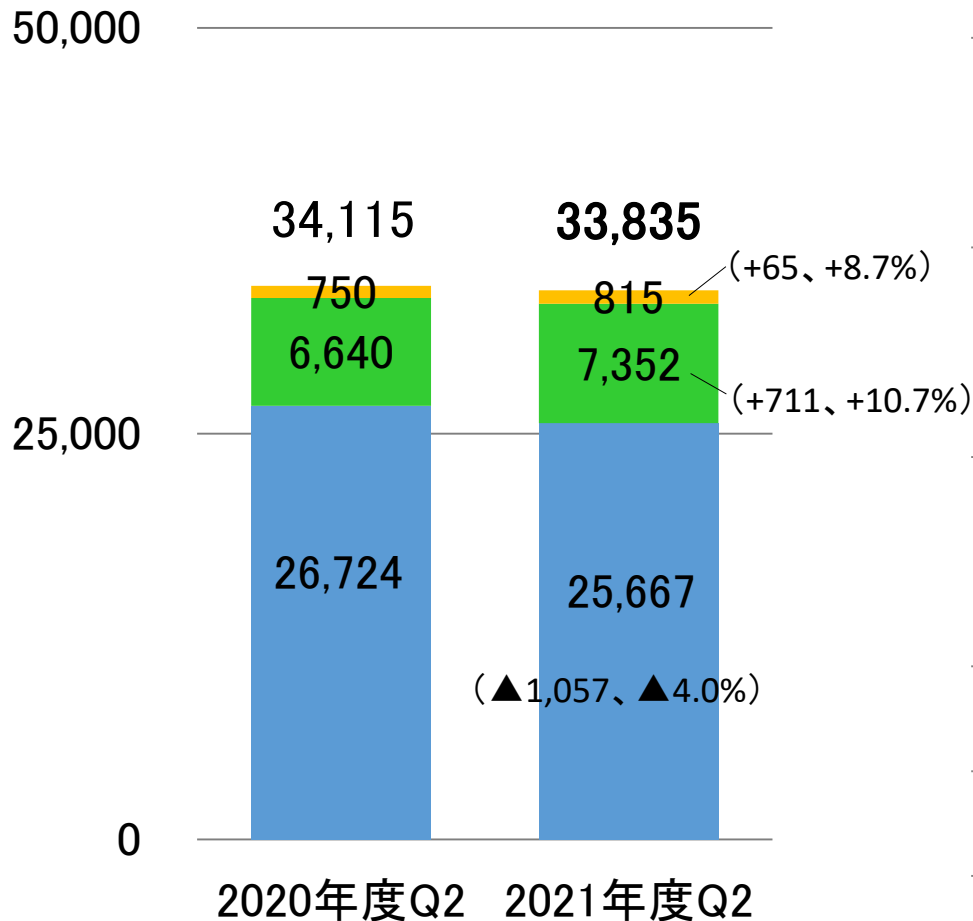


(3) セグメント情報

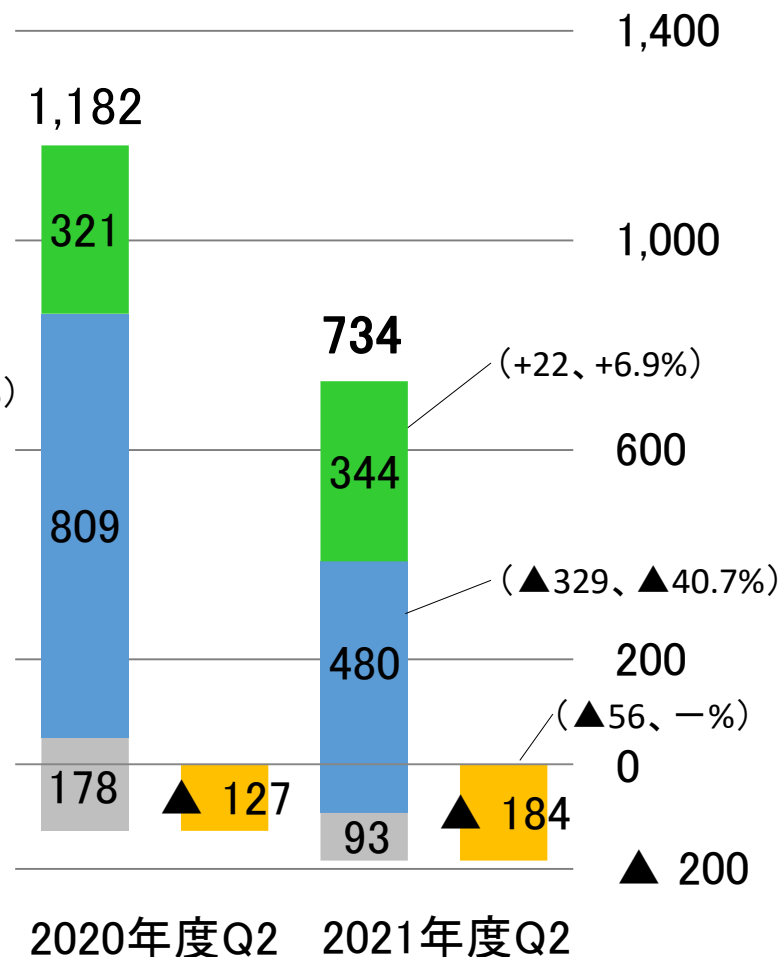


(単位:百万円)

売上高(セグメント別)※



営業利益(セグメント別)



※外部顧客に対する売上高

■ガス ■LPG ■その他 ■調整額 ()前期比

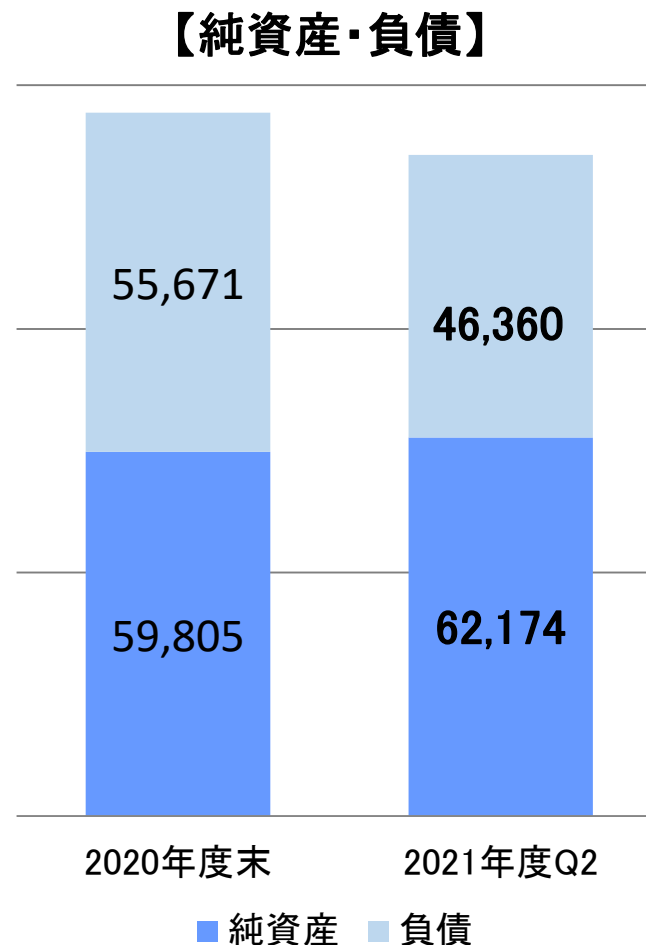
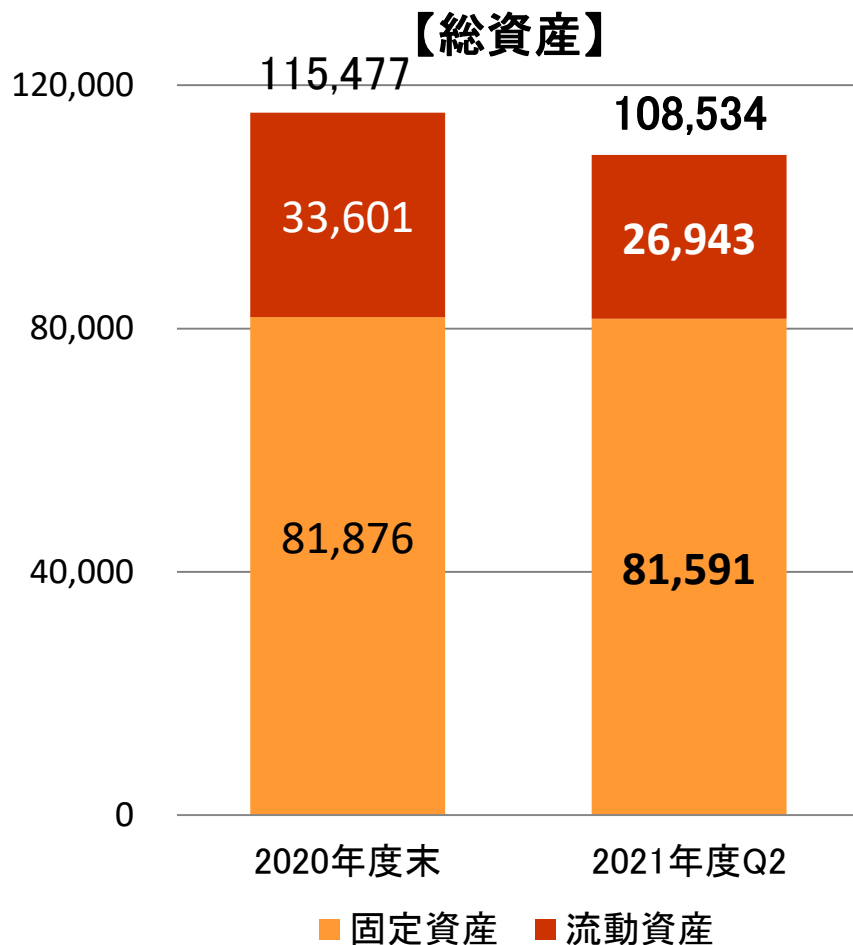
(4) ① 財政状態(貸借対照表)



(単位:百万円)

■ 総資産:対前期末比 ▲6,942(▲6.0%)
■ 負債:対前期末比 ▲9,311(▲16.7%)
■ 純資産:対前期末比 +2,369(+4.0%)

■ 自己資本比率
49.2% ⇒ 54.3%(+5.1ポイント)

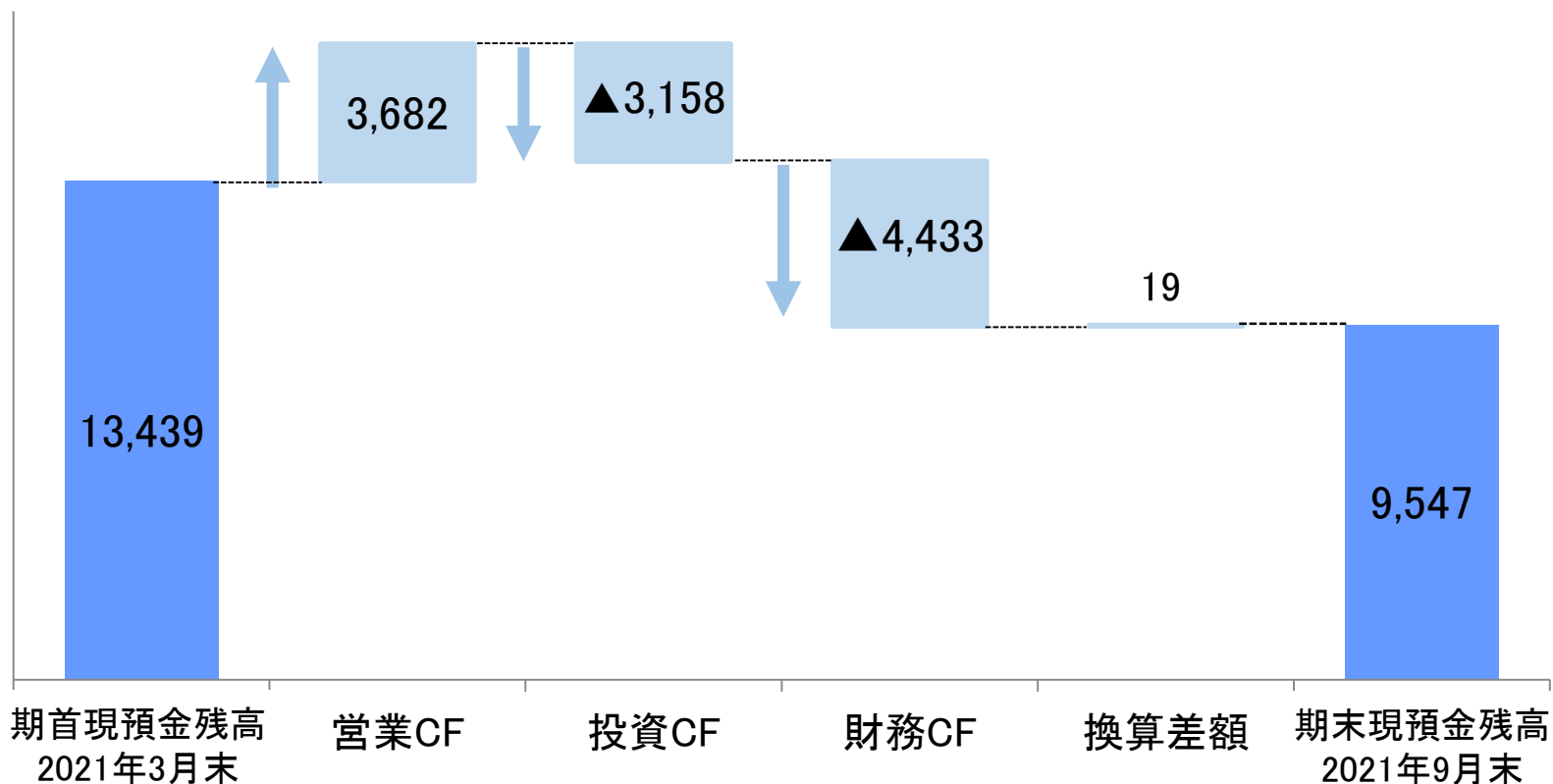


(4) ② 財政状態(キャッシュ・フロー)



(単位:百万円)

■ 現金及び現金同等物増減額(▲は減少) ▲3,891

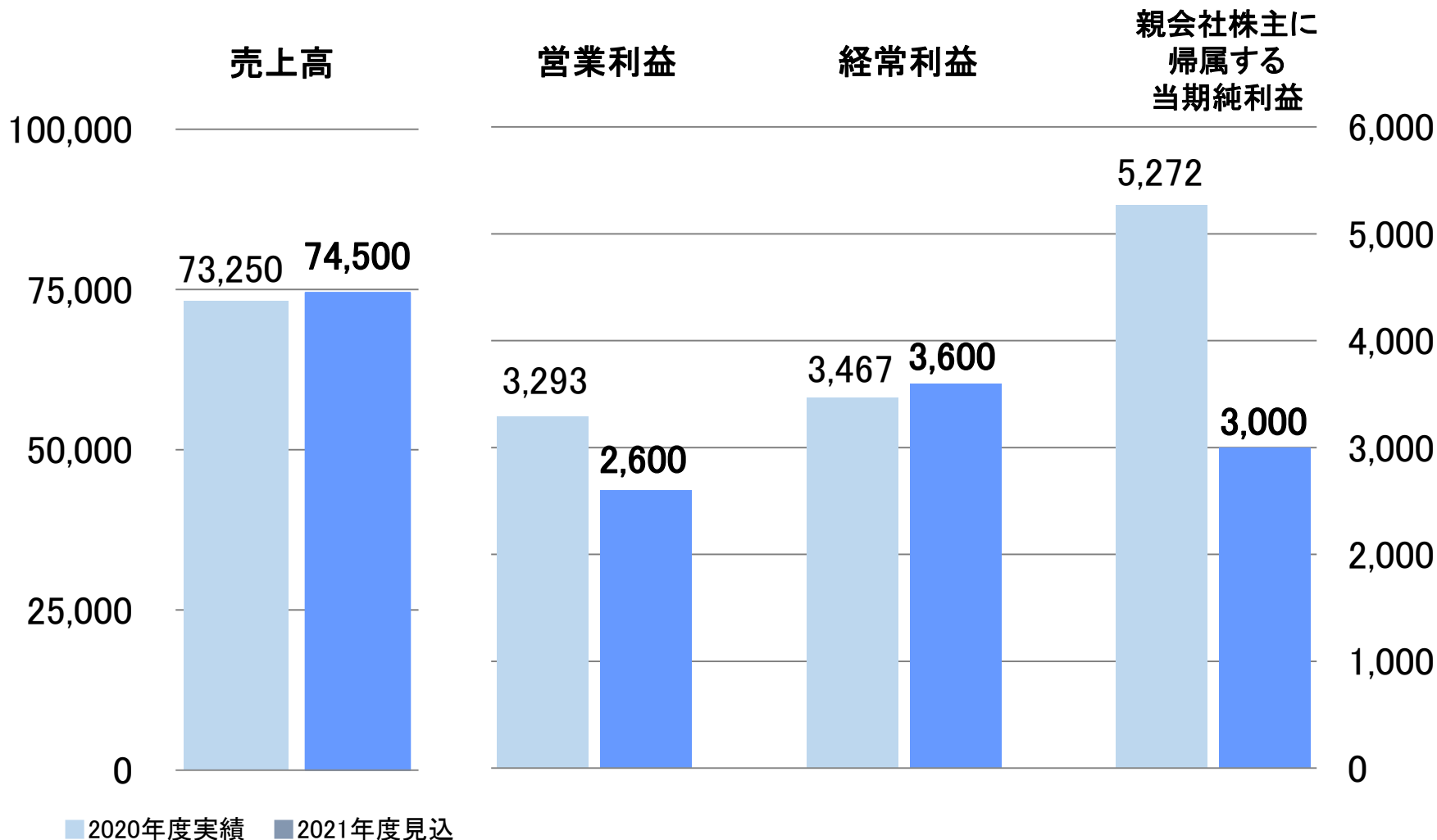


	2020年度Q2	2021年度Q2	増減
設備投資額	2,745	3,102	356
減価償却費	3,627	3,643	16

(5) 2021年度業績予想



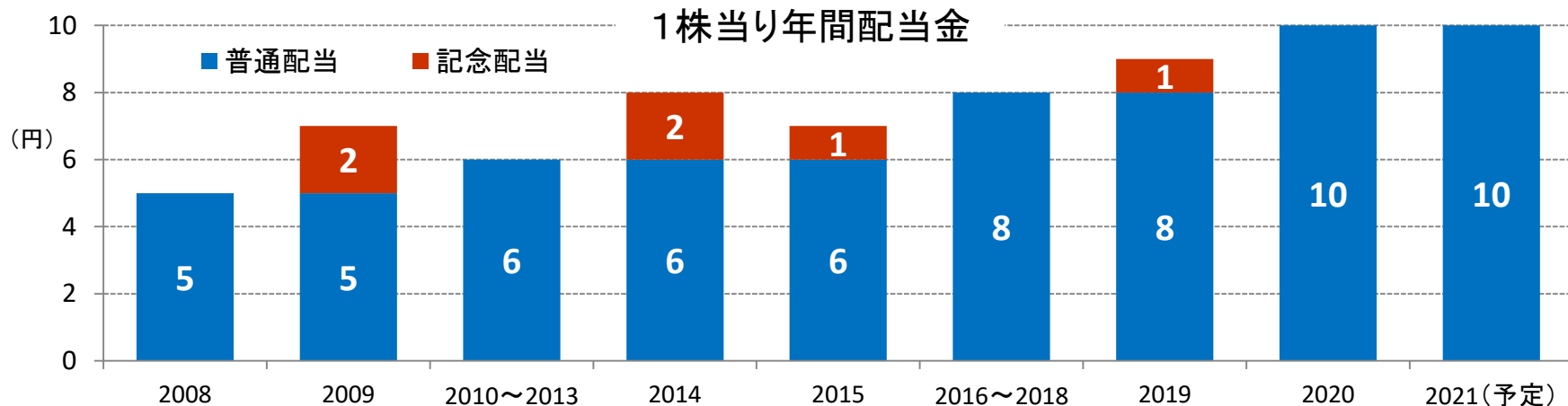
(単位:百万円)



(6) 株主還元方針

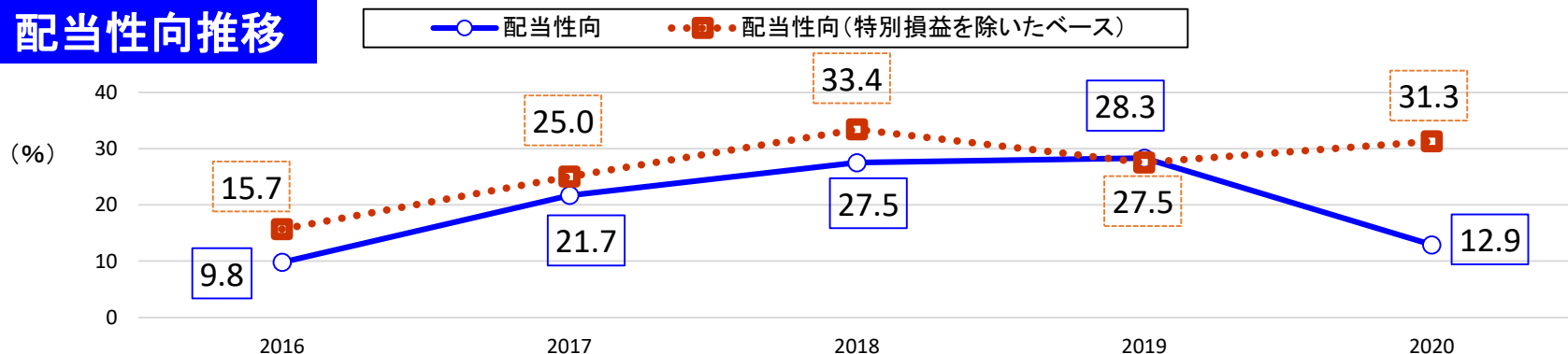


- ①徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、安定配当を継続することを基本方針としつつ、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、成長に合わせた配当を実施
- ②短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上を目指す



※ 2009年度は創立100周年、2014年度は東証一部指定、2015年度は天然ガス供給開始20周年、2019年度は創立110周年に対して、記念配当を実施

配当性向推移



2. 広島ガスグループ中期経営計画

2. 広島ガスグループ中期経営計画



広島ガスグループ2030年ビジョン

幸せにつながる感動発信



2021年度中期経営計画

需給計画	単位	2020年度 (実績)	2021年度	2022年度	2023年度	3年間 平均伸び率
都市ガス (卸供給含む)	百万 m ³	569	551	536	499	△4.5%
LPG	千t	83	90	91	94	4.1%

→ 都市ガス販売量は、大口需要家への供給量減少により、年4.5%減の見込み
燃料転換などの新規開発、原単位向上に向けた新たな取り組み等により、販売量増加を目指していく

設備投資計画	2020年度 (実績)	2021年度	2022年度	2023年度	3年間 合計
広島ガスグループ	71億円	131億円	78億円	61億円	272億円

→ 天然ガスの普及拡大と供給安定性向上を目的とした幹線投資および
その他事業の成長に資する新規事業投資等

3. 2050年カーボンニュートラルへの取り組み



- (1) 取り組みの基本的な考え方
- (2) 社会全体のCO₂排出削減に向けた
広島ガスグループの貢献
- (3) 2050年カーボンニュートラルに向けた
ロードマップ
- (4) 具体的な取り組み
- (5) エネルギーシステムのイメージ

(1) 取り組みの基本的な考え方

広島ガスグループにおける 2050年カーボンニュートラルへの取り組み

- 2030年までは、これまで実行してきた取り組みを中心に事業活動やお客さま先におけるCO₂排出量の低減を着実に推進します。
- 将来的には、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに、電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルを目指します。



2030年度目標

- ◆CO₂排出削減貢献量 **30万t／年^{※1}**
- ◆再生可能エネルギー電源 **6万kW^{※2}**
- ◆広島ガス事業所・製造所におけるCO₂排出量 **2013年度比50%減^{※3}**

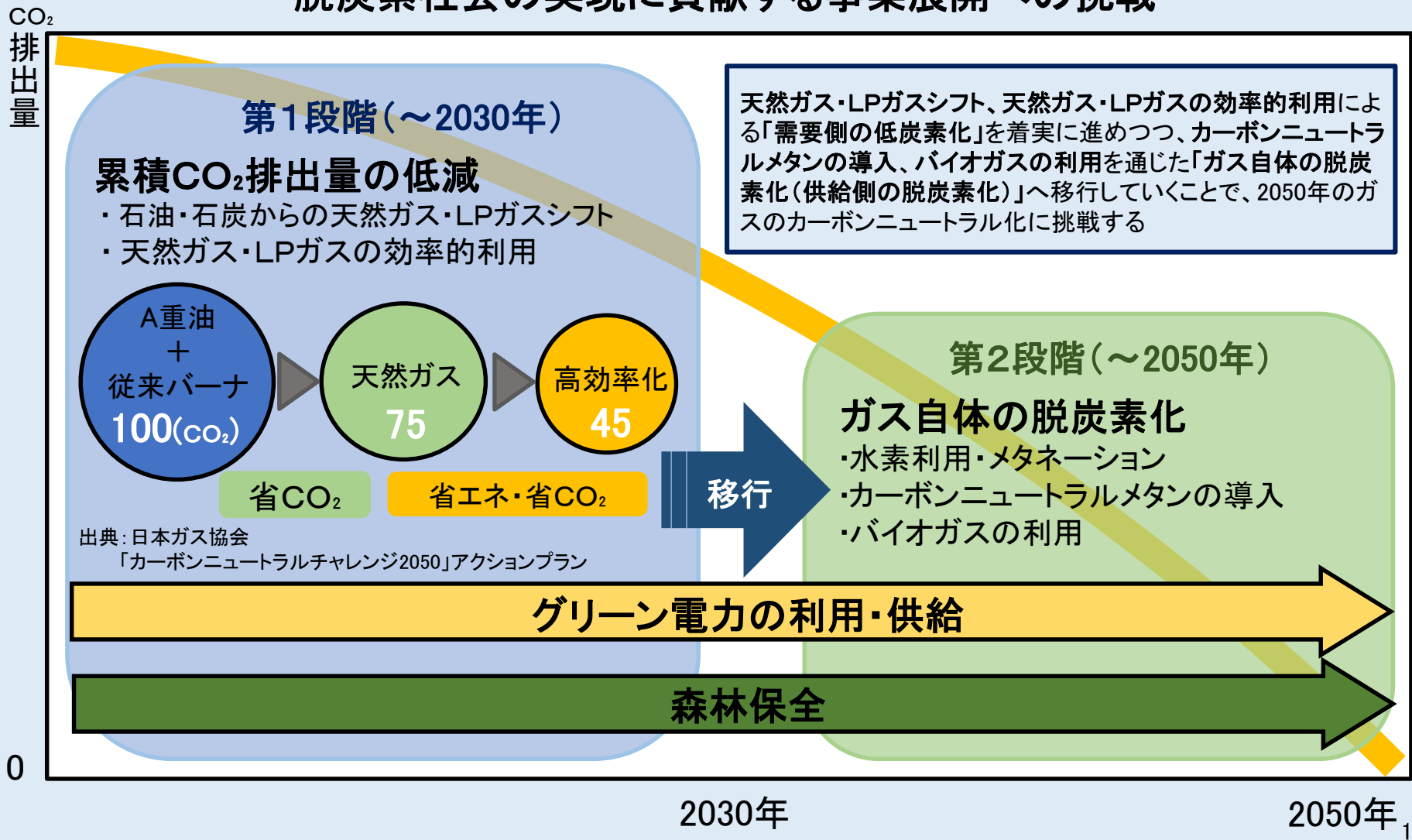
※1 当社およびお客さま先における2030年度時点でのCO₂排出削減貢献量(2021年度～)

※2 太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取(FIT)制度の適用電源を含む

※3 CO₂排出削減貢献量30万t／年に含む

(1) 取り組みの基本的な考え方

広島ガスグループの「2050年カーボンニュートラル」への取り組み ～脱炭素社会の実現に貢献する事業展開への挑戦～



(2) 社会全体のCO₂排出削減に向けた 広島ガスグループの貢献



地球環境

地球環境全体の削減に貢献

・森林保全による大気中のCO₂吸収

広島ガスグループ 都市ガスの製造～供給・事業所など

事業活動を通して貢献

- ・製造所における高効率機器の導入
- ・カーボンニュートラルLNG/メタンの利用
- ・事業所におけるグリーン電力の利用
- ・事業所や自社ビルへの太陽光発電設備の設置
- ・社用車の運用効率化
(カーシェアリング、EV・FCV化)
- ・エネルギー消費の低減
(節電、空調管理、省エネ機器への更新)



本社ビル



廿日市工場



ガスホルダー

ガス供給

お客さま先(現需要家)

お客さま先(現需要家)の削減に貢献

- ・高効率機器の普及(エネファーム、CGS・GHPなど)
- ・カーボンニュートラルLNG/メタンの供給
- ・グリーン電力の供給



CGS

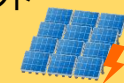


エネファーム

お客さま先(将来需要家)

お客さま先(将来需要家)の削減に貢献

- ・天然ガスの普及・拡大
- ・天然ガス・LPガスシフト
- ・グリーン電力の供給



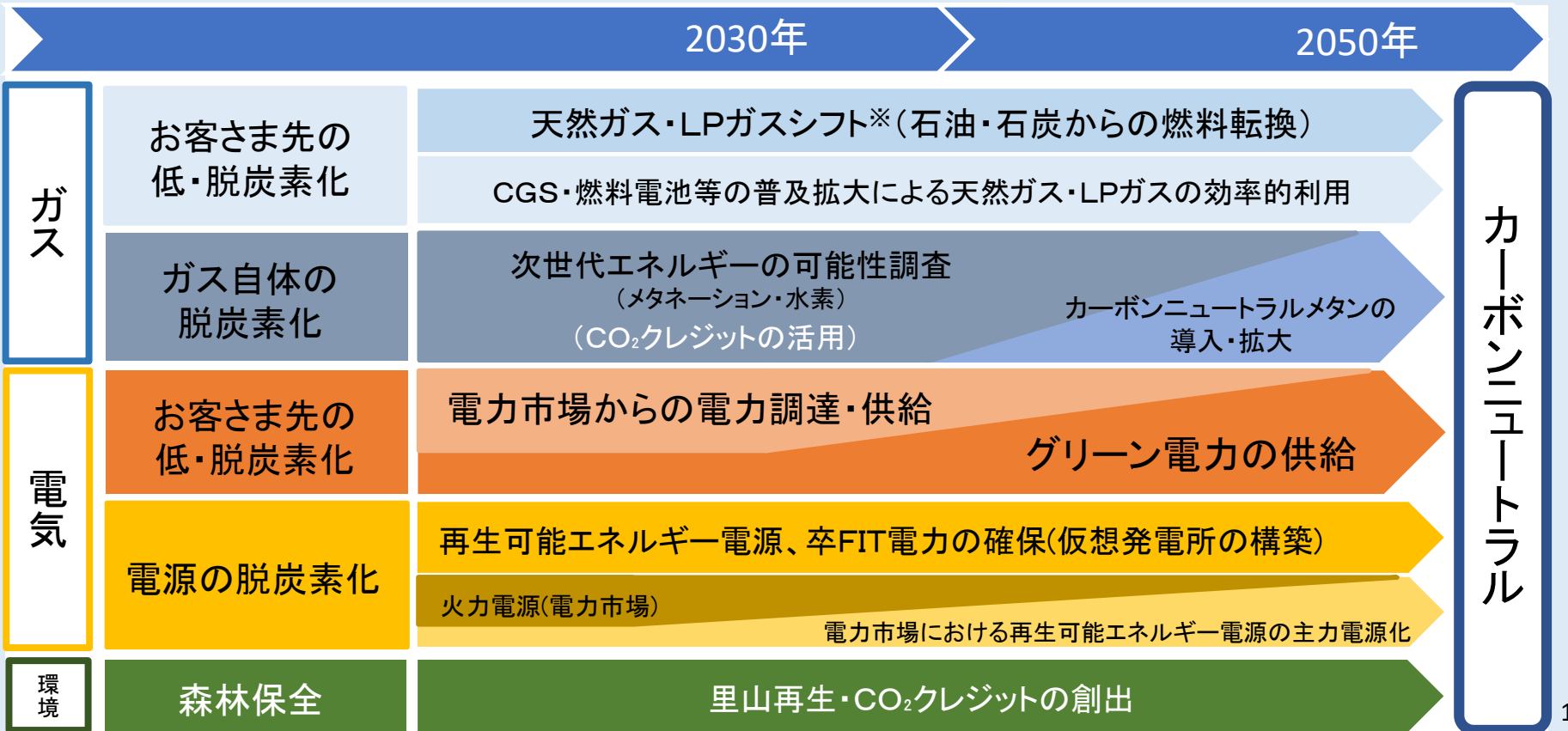
事業活動およびお客さま先(現需要家・将来需要家)のカーボンニュートラル化に取り組むことで、社会全体のCO₂排出削減に貢献します。

(3) 2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ



- ・徹底した天然ガス・LPガスシフト・効率的利用により、確実なCO₂削減を実現します。
- ・カーボンニュートラルメタンの導入・拡大による、ガス自体の脱炭素化に挑戦します。
- ・再生可能エネルギー電源による電源の脱炭素化、グリーン電力の供給に取り組みます。
- ・森林保全によるCO₂吸収、CO₂クレジットの創出の取り組みも推進します。

※ お客さま先の確実なCO₂削減に向け、広島ガスグループ全体で天然ガス・LPガスシフトおよびカーボンニュートラルLNG・LPGの導入に取り組む



(4) 具体的な取り組み

ガス体エネルギー

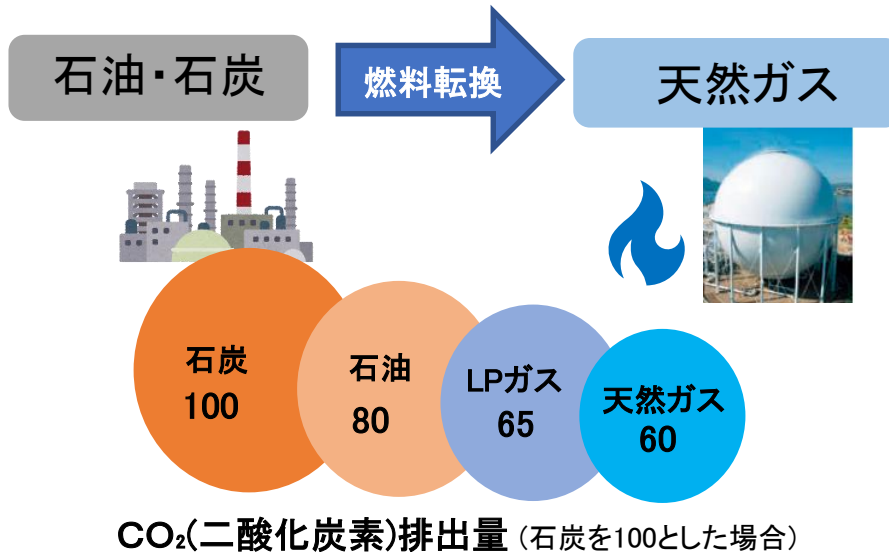
①石油・石炭からの天然ガス・LPガスシフトおよび効率的利用

天然ガス・LPガスシフトおよび効率的利用の必要性

- ・産業・民生部門のエネルギーのうち約6割を熱エネルギーが占める
- ・太陽光発電などの再生可能エネルギー電気に置き換えにくい高温の熱需要には、ガス体エネルギーへの燃料転換・効率的利用による低炭素化が必要不可欠
- ・既存の技術で対応可能

天然ガス・LPガスシフト 《天然ガスは熱エネルギーの低炭素化への即戦力》

石油・石炭→天然ガス転換によるCO₂削減ポテンシャル



分散型エネルギーシステムの普及



エネファーム



CGS

- ・燃料電池
- ・ZEH対応
- ・分散型リソース活用
- ・エネルギーマネジメントシステムの普及・展開 (省エネ診断サービス等)

LNGバンカリング

船舶の燃料転換(重油→LNG)に向けた、船舶燃料としてのLNGを供給する拠点形成

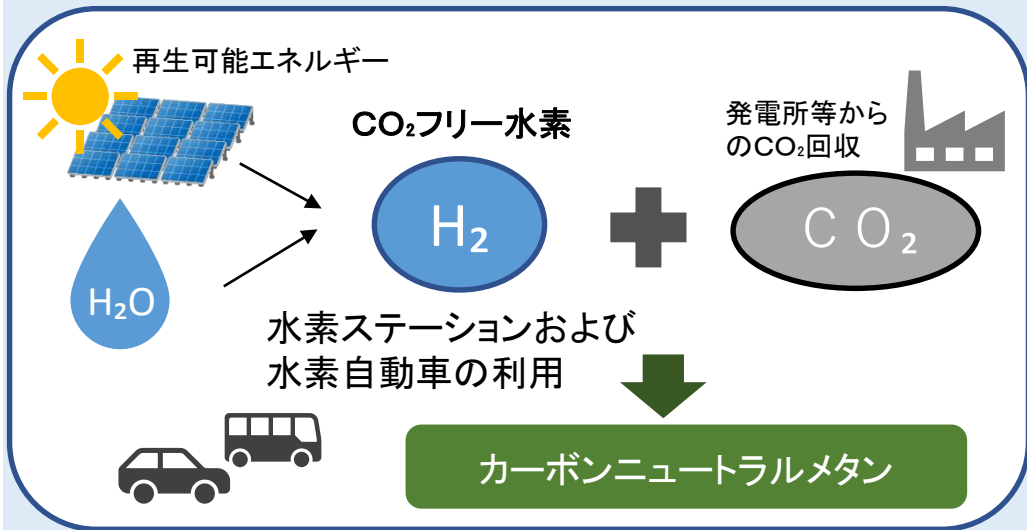


(4) 具体的な取り組み

②ガス自体の脱炭素化

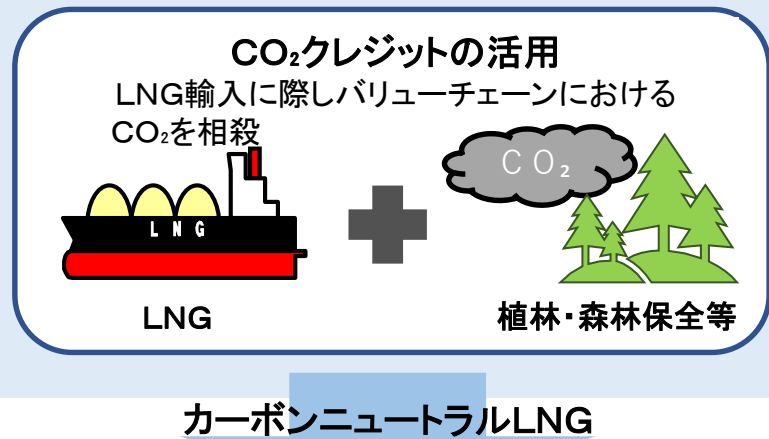
- ・メタネーション実現までの移行期においては、カーボンニュートラルLNGの調達および提案による導入促進に取り組むとともに、次世代エネルギー(メタネーション、水素)の可能性調査を進めます。
- ・将来的にはカーボンニュートラルメタンの導入に挑戦することでガス自体の脱炭素化を推進します。
- ・また、モビリティ関連での水素利用にも取り組みます。

水素およびカーボンニュートラルメタンの利用

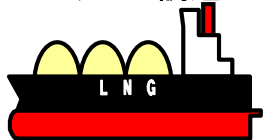


CO₂クレジットの活用

メタネーション実現までの移行期
お客さまニーズに沿った調達



カーボンニュートラルメタンの調達



バイオガスの利用



カーボンニュートラルメタン

お客さま先へ
よりクリーンなガスを供給

(4) 具体的な取り組み

電気

①グリーン電力の供給体制の構築

- ・ エネファームやコージェネレーションシステム等多様な分散型エネルギーリソースの普及を促進するとともに、IoT技術により統合・制御することでエネルギーの効率的な利用に貢献します。
- ・ グリーン電力の供給による自社電源およびお客さま先の脱炭素化に取り組みます。

分散型エネルギーリソースの普及・利活用

お客さま先



CGS



太陽光発電



エネファーム

出典: パナソニックHP

蓄電池

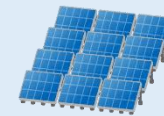
需給の両面から
電力システムの安定化
に寄与

広島ガス

- ・分散型エネルギーの普及
- ・電力供給 ・余剰電力の買取
- ・エネルギーの統合・制御
- ・仮想発電所

グリーン電力の供給

グリーン電力



太陽光発電



風力発電



バイオマス発電



小水力発電

自社電源・お客さま先へ
電力供給



CO₂排出削減、
省エネルギーなどの
環境価値



電力

(4) 具体的な取り組み

②再生可能エネルギー電源の確保

当社グループはこれまでも再生可能エネルギーの導入を進めてきました。今後は自社発電の拡大と多様化および仮想発電所の構築(卒FIT電力、エネファーム等の利用)に向けて取り組むことで、脱炭素化を加速させていきます。

<現状>

大規模太陽光発電所(呉市阿賀)



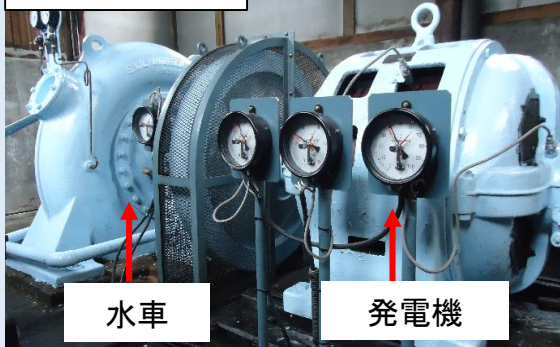
太陽光発電

海田発電所



バイオマス発電

志和堀発電所

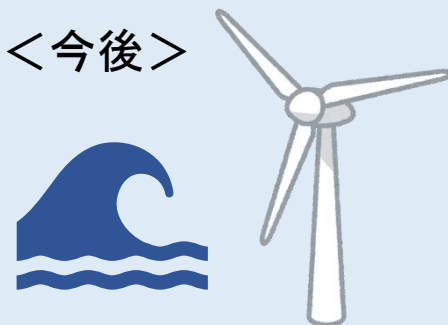


小水力発電

取水堰および導水路



<今後>



風力発電(洋上・陸上)

再エネ電源の多様化・拡大

(4) 具体的な取り組み

環境

「森林保全」「里山再生」を通じた「CO₂削減」への貢献

- ・ 実質のCO₂吸収に努めるとともに、環境価値(CO₂クレジット)を創出し、将来のカーボンニュートラルに向けた当社グループの総合エネルギーサービス事業活動に活用します。
- ・ 地域の森林組合などと連携して長期にわたり森林を適切に管理することを通じて、自然環境保全および地域資源の活用による地域活性化に貢献します。

森林保全・里山再生事業

自治体と連携し、植林による造林事業を実施

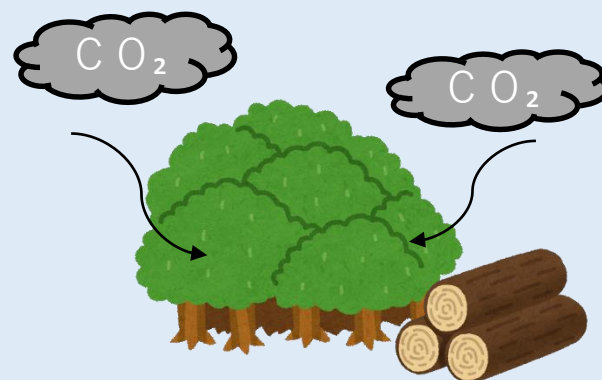
- ・ 広島県緑化センターにおいて「このまち思い 広島ガスの森」を開設(2019年11月)
- ・ 林野庁と分収造林契約を締結(2020年7月)
- ・ 広島県における計画的な森林の伐採、保育により里山を再生し、環境保全に取り組むことを目的とした協定を広島県森林組合連合会と締結(2020年11月)

CO₂の吸収・貯蔵に貢献

除伐による森林保全活動



CO₂クレジットの創出



適切な森林管理

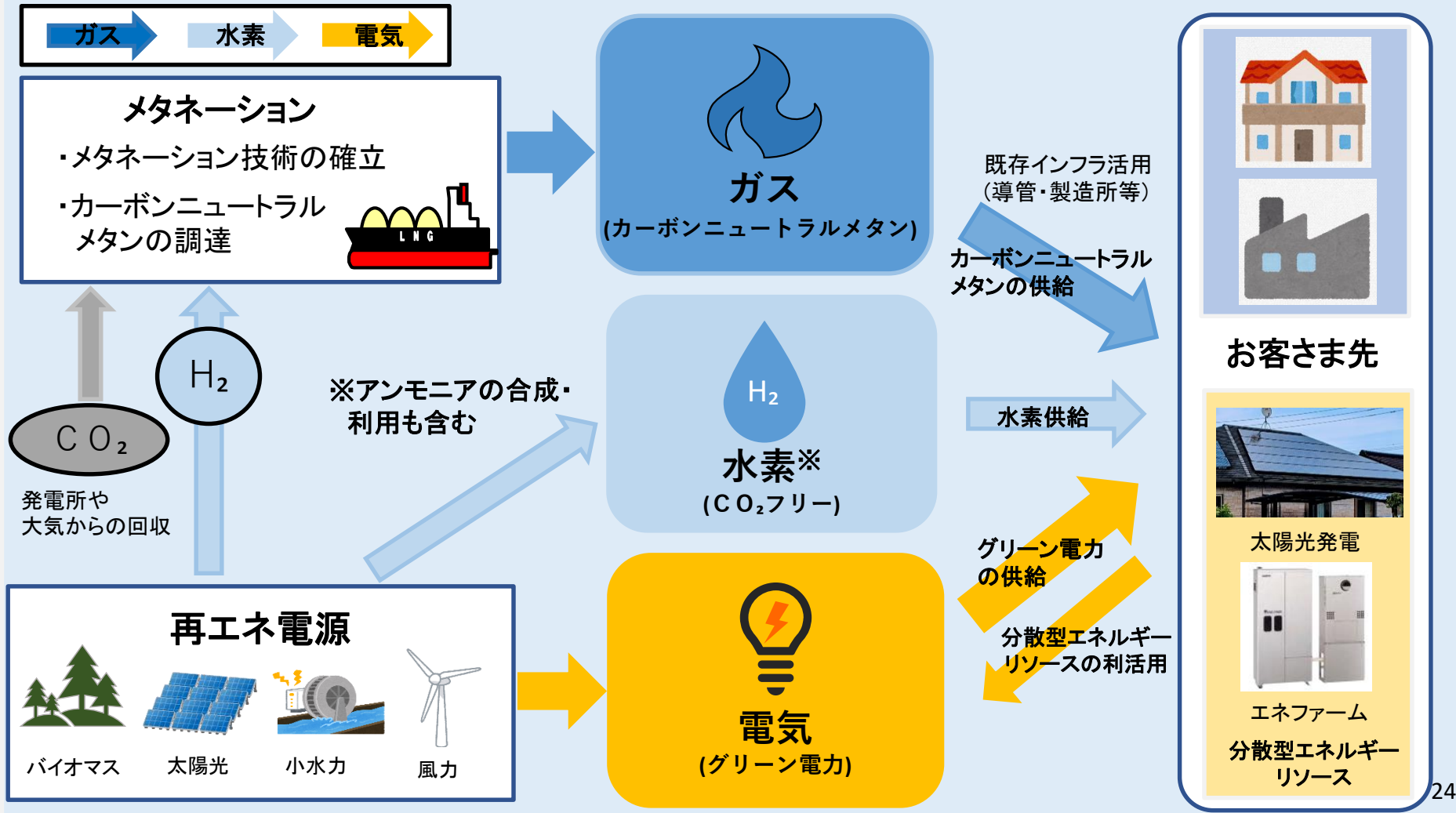
CO₂等排出削減・吸収量

環境価値創出
(CO₂クレジット)

(5) エネルギーシステムのイメージ



メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルを目指します。



4. トピックス

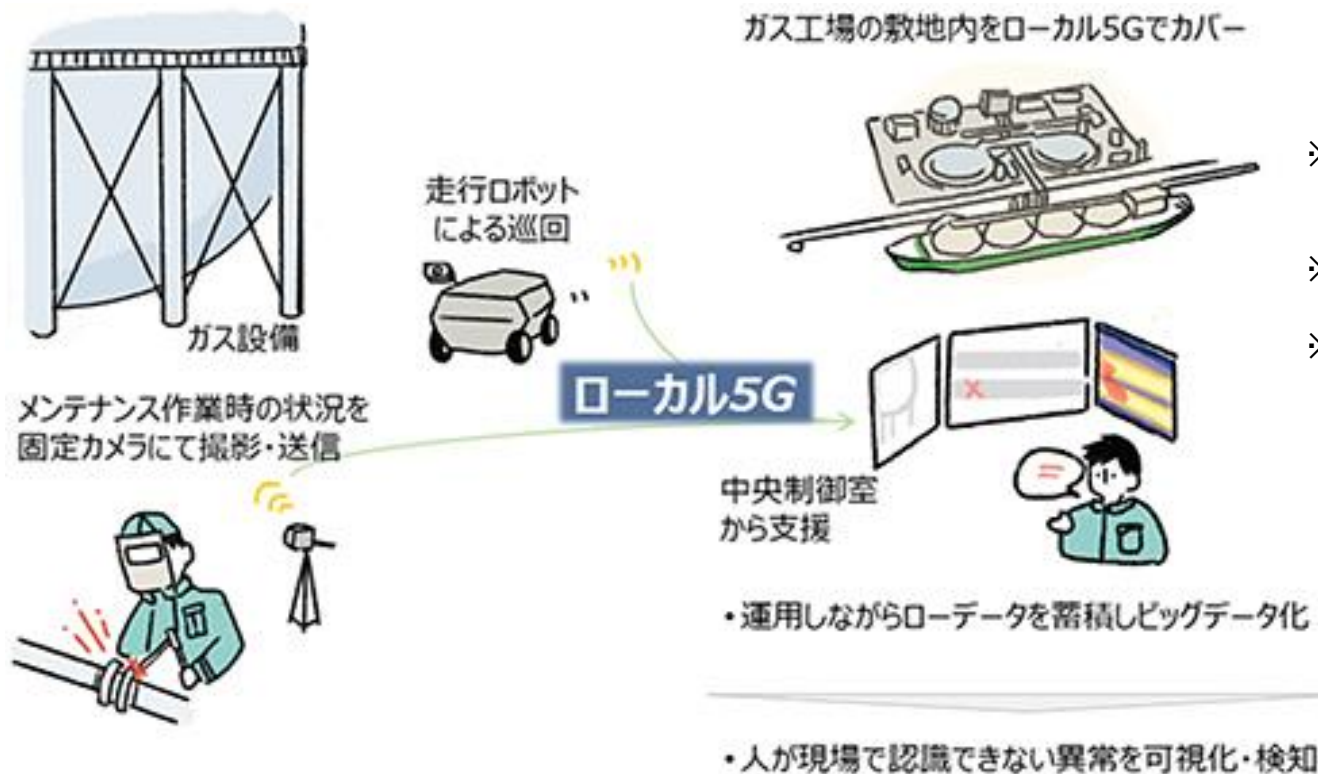


- (1) 廿日市工場におけるローカル5Gを活用した
保安業務の高度化をめざす実証実験の採択
について
- (2) 新市場区分における当社の方針について
- (3) 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み
- (4) スノーボード女子パラレル大回転の
竹内智香選手、2021-2022シーズンに向けて
挑戦を続ける

(1) 廿日市工場におけるローカル5Gを活用した 保安業務の高度化を目指す実証実験の採択について



カメラやエッジAIを搭載した走行ロボットの活用によるガス漏えい検知などLNGプラントにおけるスマート保安の実現に向けた取組みを推進します。



※総務省の「令和3年度 課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」に採択

※実証期間

2021年12月1日～2022年3月31日

※コンソーシアム

- ・広島ガス株式会社
- ・このまちネットワーク株式会社
- ・富士通株式会社
- ・知能技術株式会社、他

ガス事業におけるスマート保安をDX推進の重点分野に位置づけ、5G、AI、ロボットなどの先進テクノロジーを活用した安心安全な保安業務の実現に向け、積極的に取り組めます。

(2) 新市場区分における当社の方針について



当社の選択方針

当社はプライム市場を選択する方針であり、今後、株式会社東京証券取引所の定め
に則り所要の申請手続きを行っていく予定です。

上場基準への適合に関する一次判定結果

2021年7月9日付にて、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一
次判定の結果、「流通株式数」「流通株式時価総額」「流通株式比率」の各項目について
はプライム市場の上場維持基準を満たしていますが、「売買代金」についてのみ基準を
満たしていない旨の通知を受けました。

今後の方針

プライム市場の上場維持基準充足に向けた具
体的な取り組みについては、2021年12月までに株
式会社東京証券取引所への提出および開示を予
定している「新市場区分の上場維持基準の適合に
向けた計画書」を通じてお知らせ予定です。



2015年3月 東証一部銘柄指定

(3) 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み



事業継続と社員の安全確保の両立

・ BCP体制の確立

安全・安定したエネルギー供給を継続するため、「感染症対策」、「WEB会議システムの導入」、「リモートワーク」や「フレックス勤務」などに取り組んでいます。



お客さまサービスの多様化

・ 「広島ガスWEBモール」の開設

インターネットでガス機器を購入できるように「**広島ガスWEBモール**」を開設しました。2021年ガス展は中止としましたが、WEB上でガス機器を特別価格で販売する「このまち思いセール2021」を開催中です。(2021年12月17日まで)




・ 「スマートフォンによるQRコード決済」の開始

QRコード決済による「**ガス料金の支払い形態を多様化**」に取り組んでいます。(Pay B、PayPay、LINEPay、楽天銀行、ファミペイ、auPAY、d払い)



・ ソーシャルメディアでの情報発信

お客さまへ最新の情報をお届けするため、様々なSNSを活用して情報を発信しています。

 広島ガス公式Twitter @hirogas_saigai	 広島ガス公式Facebook @hiroshimagas
 広島ガス公式Instagram @hiroshima_gas	 広島ガス公式YouTube

		
YouTubeチャンネル「ガスキーちゃんねる」		

2021年6月
から開始!

(4) スノーボード女子パラレル大回転の竹内智香選手 2021-2022シーズンに向けて挑戦を続ける



SAJ令和3承認第00213号

2021年10月12日、本社構内にて「2021-2022シーズンイン壮行会」を開催しました。
世界を舞台とする競技大会での活躍に向け、挑戦を続けます。





本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(ご参考) 会社概要



- お客さま件数 41万5千件 (2021年3月31日現在)
- 都市ガス供給区域 広島県内の7市4町
- 広島県東部地区にて福山ガスに卸供給

- 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定 (2015年3月9日)
- 証券コード 9535
- 単元株式数 100株
- 発行済株式総数 68,120,955株 (2021年3月31日現在)



(ご参考) 主要決算数値



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020
売上高	76,731	77,912	83,541	88,851	76,303	70,002	73,717	81,842	82,268	73,250
営業利益	1,347	2,841	2,058	4,111	5,475	3,812	2,920	1,926	2,971	3,293
経常利益	1,803	3,170	3,235	4,699	5,775	4,310	3,506	2,509	3,454	3,467
当期純利益(※1)	91	1,835	1,969	2,746	3,647	5,560	2,499	1,971	2,153	5,272
減価償却費	7,221	6,449	7,284	6,925	7,091	6,858	7,269	7,349	7,344	7,360
営業キャッシュフロー(※2)	7,313	8,285	9,253	9,671	10,739	10,313	9,319	9,320	9,564	12,732
設備投資額	5,457	7,227	12,257	9,667	9,851	8,267	7,401	7,377	6,735	7,147
フリーキャッシュフロー(※3)	1,856	1,057	-3,004	4	887	2,045	1,918	1,942	2,829	5,584
総資産	91,135	89,806	96,785	99,759	102,357	102,363	102,717	104,935	107,139	115,477
自己資本(資本)	30,142	32,190	33,586	37,340	39,961	45,825	48,332	48,019	49,274	56,769
有利子負債	40,707	36,193	42,360	39,215	37,350	36,310	34,455	36,293	38,616	40,074
EBITDA	8,569	9,290	9,342	11,036	12,567	10,670	10,190	9,275	10,315	10,654
ROA(%) (※4)	0.1	2.0	2.1	2.8	3.6	5.4	2.4	1.9	2.0	4.7
ROE(%) (※4)	0.3	5.9	6.0	7.9	9.4	13.0	5.3	4.1	4.4	9.9
自己資本比率(%)	33.1	35.8	34.7	37.4	39.0	44.8	47.1	45.8	46.0	49.2
EPS(円)	1.5	31.2	33.3	46.3	55.7	82.0	36.8	29.1	31.8	77.5
BPS(円)	512.4	545.2	567.1	571.0	590.1	675.2	715.2	709.0	725.8	833.4
配当性向(%)	389.6	19.3	18.0	17.3	12.6	9.8	21.7	27.5	28.3	12.9
D/E レシオ	1.4	1.1	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7

※1 FY2015より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2016、FY2017、FY2019、FY2020はキャッシュを伴わない特別損益を加減

＜FY2016＞債務免除益2,105百万円 ＜FY2017＞退職給付制度改定益449百万円＜FY2019＞投資有価証券評価損△66百万円

＜FY2020＞受取補償金 4,400百万円、減損損失△98百万円

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

(ご参考) 販売量データ



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

		FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020
家庭用	販売量(百万m3)	107	105	103	103	100	99	104	98	97	103
	対前年比(%)	-0.5	-2.0	-2.2	0.7	-3.5	-0.9	4.8	-5.2	-1.5	6.9
商業用	販売量(百万m3)	49	48	47	45	43	44	45	43	43	35
	対前年比(%)	-4.8	-2.1	-1.1	-4.9	-3.3	1.9	2.5	-4.0	-1.3	-18.3
工業用	販売量(百万m3)	273	262	258	242	242	255	271	326	313	304
	対前年比(%)	-0.6	-4.2	-1.3	-6.4	-0.0	5.4	6.3	20.3	-3.9	-3.0
その他用	販売量(百万m3)	37	37	38	37	36	38	38	36	35	35
	対前年比(%)	-3.7	-0.1	2.7	-4.2	-2.7	5.8	1.5	-5.6	-3.7	1.5
卸供給	販売量(百万m3)	55	60	61	62	60	56	58	77	106	90
	対前年比(%)	1.5	8.1	1.9	2.7	-3.9	-5.9	3.6	30.9	38.1	-15.3
合計	販売量(百万m3)	524	513	509	491	483	494	519	583	596	569
	対前年比(%)	-1.0	-2.0	-0.8	-3.5	-1.8	2.4	5.0	12.3	2.3	-4.4